

●契約の方法

条件付一般競争入札

●契約の金額

1億8千295万2千円

●契約の相手方

株式会社平間組

予算

◎平成30年度白石市一般会計
補正予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ3億412万4千円追加し、予算総額を14億4千841万5千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○情報化対策事業

429万5千円

○障害児通所支援事業

422万7千円

○農産物等販売施設整備事業

338万円

○白石スキー場費

731万7千円

○温麺食文化伝承館施設修繕経費
380万円

○道路維持補修費(除雪関係経費)

5千226万5千円

◎平成30年度白石市国民健康
保険特別会計補正予算
(第1号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ3千812万5千円追加し、予算総額を38億8千423万円とするものです。

補正の主なものは、総務費を増額するとともに、前年度事業費確定による国、県支出金返還金、予備費を増額するものです。

◎平成30年度白石市介護保険
特別会計補正予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ1億9千234万3千円追加し、予算総額を38億6千572万7千円とするものです。

補正の主なものは、前年度事業費確定による国、県支出金返還金及び一般会計繰入金、介護保険事業財政調整基金積立金、地域支援事業費等を増額するものです。

◎平成30年度白石市後期高齢
者医療特別会計補正予算
(第1号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ1千965万円追加し、予算総額を4億3千303万8千円とするものです。

補正の主なものは、予備費を増額するものです。

◎平成30年度白石市下水道事
業会計補正予算(第1号)

補正の主なものは、収益的収入において、下水道使用料等5千598万9千円を増額、他会計補助金5千560万円を減額し、収入総額を11億3千409万2千円とするものです。

また、資本的収入において、他会計補助金5千560万円を増額し、収入総額を5億9千321万6千円とするものです。

本会議質疑より

◎平成29年度白石市一般会計
及び特別会計歳入歳出決算
の認定について

〔質疑〕昨年より債権管理条例を制定し、未収額を少なくしていく取り組みを始めているが、平成29年度は未収額が前年度に比べ増加している。この増加した理由、背景などを伺う。

〔答弁〕滞納整理については、例年同様、督促状から催告状の発送、差し押さえ、部課長による訪問催告などを行い、悪質な滞納者については、仙南広域行政事務組合に事務を移管し滞納整理を行っており、高い効果を得ている。

納税環境についても、市税等をいつでも納付できるよう平成27年度よりコンビニ収納を行い、本年10月以降は介護保険料、後期高齢者医療保険料もコンビニ収納が可能となるなど、整備を進めている。

また、不納欠損処分を実施しているが、その一方で滞納が増えることにより収入未済額が増え、収納率が大きく向上しないといった現状があり、数字的には効果が見えにくいものとなっている。

しかしながら、不納欠損処

分額を簡単に大きくすることはできないことから、債権管理条例に合うように、さまざまな調査を行い、職員に対する研修を行うなど、改善を図っているところである。



不納欠損処分とは？

債務者が死亡し相続人もいない場合や、時効が成立したときなどにより徴収が困難と認められ、今後も徴収の見込みがたず徴収を諦めることとなった場合に行われるのが不納欠損処分です。

また、時効のような法律若しくはこれに基づく政令又は条例に特別の定めがある場合でなくとも、地方自治法第96条第1項第10号の規定により権利の放棄が議決された際には、それを根拠として手続きを行うことも可能です。

〔質疑〕益岡公園野球場改修工事について、現在の進捗状況及び財源を含めての今後の見通しを伺う。

〔答弁〕昨年の補正も含め、現在の進捗率は50%である。